

## 所沢市こども計画(素案)に対するご意見と市の考え方

### ご意見と市の考え方

---

令和6年12月6日から令和7年1月7日にかけて実施しました所沢市こども計画(素案)のパブリックコメント手続きにつきまして、皆様から寄せられたご意見の内容とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見をいただきました皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

#### 1 意見募集の概要

- (1) 募集期間 令和6年12月6日(金)～令和7年1月7日(火)
- (2) 受付方法 電子メール、電子申請、FAX、直接持参、郵送

#### 2 募集結果

- (1) 人数 11名
- (2) 件数 50件

#### 3 実施結果の公開期間

令和7年2月12日から令和7年7月31日まで

令和7年2月12日  
所沢市 こども未来部 こども政策課  
電話: 04-2998-9415  
FAX: 04-2998-9035  
E-mail: [a9415@city.tokorozawa.lg.jp](mailto:a9415@city.tokorozawa.lg.jp)

所沢市子ども計画(素案)に対するご意見と市の考え方

No	頁	項目	意見	回答
1	P8	3 計画の期間	5年も余裕ありません。すぐやして下さい。子供は成長します。5年も計画したら企業は倒産します。スピード感なさすぎです。 スピード感を持つのは、役所には無理かと思うので、子育て世帯を100%減税して役所の仕事を減らして、住民が積極的に選んでサービスを受ける形式にして頂きたいです。	貴重なご意見ありがとうございます。 本計画に包含される「子ども・子育て支援事業計画」の計画期間は法律により5年と定められておりますので、本計画についても計画期間を5年としております。計画期間の中で、毎年見直しを図りながらスピード感をもって子ども施策を進めてまいります。 また、住民税や所得税の100%減税については、税の公平性の観点からも難しいものと考えますが、子育て世帯に対する経済的支援充実の声が多いことは認識しており、市では、子ども医療費の対象年齢の拡大や小中学校の学校給食費無償化など、子育て世帯への経済的負担の軽減に向けた施策を実施しているところです。今後につきましても、経済的負担を含めた子育て世帯の負担軽減に向けた施策を進めてまいります。
2	P21	(2)人口と世帯の状況 工)母子世帯・父子世帯数の推移	単純な疑問なのですが、国勢調査ベースのデータで「共働き世帯数の増加」「母子世帯・父子世帯数は横ばい」などが読み取れますが、どこまでデータとして正しいのでしょうか。小学校の教員等の体感と合致しているのでしょうか。不動産分野の空き物件数に関しては必ずしも合致していない(傾向値はつかめる)と思っています。	貴重なご意見ありがとうございます。 国勢調査は、国の統計に関する基本的な法律である統計法において、基幹統計調査としての位置付けが特に規定されており、その調査結果は行政におけるあらゆる施策の基礎データとして利用されているほか、民間企業等においても様々な分野で幅広く活用されているものです。このようなことから、国勢調査における数値の信頼性は高いものと認識しております。
3	P22	(3)就労の状況	「子ども計画」と就労の状況との関係がこの資料からは読み取れないので、市役所の担当に電話で問い合わせをしたところ子育てに通勤時間が影響するためのとの回答でした。所沢市が埼玉県ほぼ中央にあるのであれば、現状の分析が妥当だと思います。しかし、所沢市は埼玉県の南端で、東京都に隣接しています。 例えば、西武池袋線秋津駅は東京都東村山市ですが、駅舎の一部が所沢市に属しています。したがって、埼玉県内外という分析は、「子ども計画」では妥当ではありません。 通勤時間が反映するような方法、例えば、所沢市内、所沢隣接市町、所沢近郊市町、その他市町というくりで分析をした方が良いと思います。 また、「15歳以上就業者の主な就業地(県外)は東京都新宿区、千代田区の順になっています。」というような「子ども計画」との関連性の低いコメントは削除した方が良いと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 「就労者の就業先」につきましては、国勢調査による調査結果をもとに、就労者の通勤時間を分析した結果を掲載しております。ご提案の「埼玉県内外」以外の分析につきましては、国勢調査の調査項目にないことから対応はできかねますが、ご意見のとおり通勤時間の分析を示す記載としては誤解を招く恐れがありますことから、「就労者の就業先」を削除します。
4	P27	(5)保育の状況 ウ)放課後児童クラブの入所児童数	入所児童数の割合を計算する際の分子分母の時期が異なっています。 時期を一致させて、整合性を取っていただきたいと思えます。 分母:小学校児童数 1各年5月1日現在 分子:入所児童数 2各年4月1日現在	貴重なご意見ありがとうございます。 頂いたご意見を踏まえまして、入所児童数を各年5月1日現在の人数に修正いたします。
5	P27	(5)保育の状況 ウ)放課後児童クラブの入所児童数	前ページに保育園の待機児童数は載っていますが、放課後児童クラブの保留児童数は載っていません。放課後児童クラブの保留児童数も載せた方がいいのではないのでしょうか。新入児の保護者が学童クラブを利用するときになって初めて保留児がいることを知り、驚かれることがあります。広く市民の皆様には現状を知っていただいた方がいいのではと思います。 また、この現状を踏まえて、計画を策定していくことが大切と感じます。	貴重なご意見ありがとうございます。 頂いたご意見を踏まえまして、放課後児童クラブの待機児童数を掲載いたします。
6	P 28	(6)特に支援を要することも・家庭の状況 ア)児童扶養手当受給者数の推移	児童扶養手当受給の要件を記載した方が良いと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 児童扶養手当は国の制度改正により、年によって所得制限等の要件が変動します。よって画一的に受給要件を記載することは難しいため、案のとおりとさせていただきます。
7	P32	3 子ども計画策定に向けた保護者アンケート調査結果	保護者向けアンケートで追加して欲しい内容 ・中学校レベルの内容を自分で子どもに教えられたいと思うか。 ・SNSは有益だと思うか。 ・PTA等負担に感じるものはあるか。それはなにか。 ・他の保護者の話を聞いて、焦りを感じることはあるか。 ・他の保護者と話すときに静かな声で話せるか。どうしても話を盛ったり面白くするために大きな声になってしまうか。 ・ママ友同士の会話などは有益だと感じるか。ママ友同士の会話が必要になるのは学校側の情報発信が分かりにくいからか。	貴重なご意見ありがとうございます。 頂いたご意見は、子育て当事者へのアンケートを実施する際の参考とさせていただきます。

所沢市子ども計画(素案)に対するご意見と市の考え方

No	頁	項目	意見	回答
8	P38	3 子ども計画策定に向けた保護者アンケート調査結果 [4]小学生の放課後の過ごし方	放課後児童クラブをはじめとする放課後のこどもの居場所の整備が喫緊の課題となっています。について 子どもの居場所について アンケート集計から、学童期の放課後の居場所は自宅、学童クラブ、習い事等になっています。市内児童館内の学童クラブ(生活クラブ)は施設が充実していることから、子どもの過ごし方の選択肢があり、ストレスの少ない環境になっているように見受けられます。このことから、子どもが徒歩で通える小学校区内に、子どもの居場所となる安心安全な施設の必要を感じます。待機児童の解消だけでは無く、子どもが安心して伸び伸び過ごすことができる、子どもにとっての質的な向上を図る施設の設備と充実、拡充が急務と考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。 本市におきましては、中高生世代を含めたこどもの居場所として、おおむね各行政区に1つずつ、合計11か所の児童館が設置されております。 本市の児童館の数は、県内では、さいたま市に次いで2番目であり、近隣他市と比較しても、充実しております。 中高生世代を含めたこどもの居場所につきましては、今後も、こどもの意見等も踏まえ、児童館など既存の施設を活用したいと考えております。
9	P42	4. 子ども計画策定に向けた子ども・若者への調査結果	子ども向けアンケートで追加して欲しい内容 ・学校の給食はおいしいか。 ・通学路は楽しいか。 ・通学路は安全だと思うか。 ・横断歩道で待つとき、横断歩道をわたるときにどういった気持ちになるか。 ・歩道橋をわたるときにどういった気持ちになるか。 ・SNSで同じ学校の友達が増えたか。 ・SNSで違う学校の友だちが増えたか。 ・学校を休むとどういった気持ちになるか。 ・ボールを使って遊べる場所が近くにあると思うか。	貴重なご意見ありがとうございます。 頂いたご意見は、子ども・若者へのアンケート実施する際の参考とさせていただきます。
10	P42	(1)調査票を用いたアンケート調査の概要 2.調査設計 調査の区分 調査方法 調査期間	小学生児童本人(小学5年生)配布数 541人となっています。 一方、P68には、令和6年5月1日現在、公立小学校の児童数は 15,556 人と記載されています。ざっくり計算すると、1学年の児童数は2,500人前後だと思われませんが配布数は約1/5となっています。(15,556人 ÷ 6学年 = 2,593人)したがって、どのような調査方法を行ったのか、これを読んだ人に理解できるように記載していただきたいとします。 中学生生徒本人(中学2年生)についても同様です。 川越市の「子ども計画」では、川越市在住で私立小、中学校に通学している児童・生徒を含めて調査対象としています。 所沢市は、所沢市在住で私立小、中学校に通学している児童・生徒を調査対象に含めていますか？もし含めていないのであれば、その分を含めていただければと思います。 P68から引用 令和6年5月1日現在、公立小学校の児童数は 15,556 人、公立中学校の生徒数は7,533 人となっており、ともに減少傾向にあります。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえまして、本計画に対象者の選定方法を記載します。 また、今回の調査では私立小・中学校に通学している児童・生徒については対象としておりません。頂いたご意見は、今後の意見聴取の参考にいたします。
11	P48,P50, P100	(2)対面によるヒアリング調査の概要 4.結果概要 公共空間のマネジメント 基本目標1-施策の方向4-エ)こどもたちの安全で安心な居場所づくり 番号79児童館運営事業、番号83トコロん自習室開設事業	アンケートを見ると「友達と過ごせる居場所」「友達とわいわいできる場所」「色々な人と交流できる場所」などへのニーズがある反面、「静かに過ごせる場所」へのニーズも一定数あるように思います。この相反するニーズはどのようなものなのか興味があります。【基本目標1-施策の方向4-エ)こどもたちの安全で安心な居場所づくり】【基本目標4-施策の方向1-ア)若者の居場所の提供】にはそうしたニーズに根本的に応えるメニューが無いように思いました。 所沢市の「令和4年度財政状況資料集」や総務省の「公共施設状況調経年比較表」を見ると、所沢市の「認定こども園・幼稚園・保育所の一人当たり面積」「学校施設の一入当たり面積」「児童館の一入当たり面積」「図書館の一入当たり面積」は他の類似団体/全国平均/埼玉平均と比べてもかなり狭いように見受けられます。ただ、所沢市のほぼ全ての公共施設に言えることなので、公共施設のマネジメントのあり方から考えるべきなのかもしれません。 「勉強できる場所」が欲しいニーズが一定数見受けられましたが、「民俗資料館」「郷土美術館」が不定休すぎるのでそうした場所を活用しても良いと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、子ども・若者から静かに学習ができるスペースへのニーズが高いことは認識しております。公共施設のあり方も含めて、今後の事務の参考にいたします。
12	P48	(2)対面によるヒアリング調査の概要 4.結果概要 「同じ境遇の子がいる」と安心して過ごせる場所。	p48に「同じ境遇の子がいる」と安心して過ごせる場所。」にあります。相談事業の事例をもう少し分かりやすく公表してほしいです。守秘義務がどの程度あるのか不明ですが、弁護士や消費者センターの相談事例なども参考にされたいと思います。ちなみに、今これを書くときにどういった相談事業があるのか調べるのも面倒でした。「相談受付件数」の推移だけ見てもどのような相談があるのか良く分からず、適切な予算配分がされているのかも判断がつかないと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 子ども・若者が相談しやすい環境づくりは必要なことと認識しております。頂いたご意見は今後の事務の参考にいたします。
13	P49	(2)対面によるヒアリング調査の概要 4.結果概要 「音楽できるところが高い」	p48に「音楽できるところが高い」とありますが、所沢ミュージズに毎年7億円程度使っても音楽の街が形成されていない印象があります。p85の「音楽のあるまちづくり推進事業」は1-2百万円ぐらいたと思うので許容範囲だと思いますが、そもそもストリートミュージシャンなどが駅前等で自然発生しない何らかの理由があると思います。航空公園駅から所沢ミュージズ周辺を歩いて、与えられた音楽を消費する行為以外は認められていないような、そんな印象もあります(航空公園内で楽器を練習している人は度々見かけます)。 「所沢ミュージズ」周辺は防音性能が高い住宅を誘導するような地区計画を策定するなど一案だと思います。航空公園以外に楽器演奏をしても迷惑にならない公園が少ないことも課題に感じます。	貴重なご意見ありがとうございます。 音楽のあるまちづくり推進事業につきましては、あらゆる世代の市民や所沢市を訪れる方々に、音楽を演奏する機会、聴く機会を常に身近なものとして定着させ、豊かな音楽文化が持続的に発展できるよう取り組んでいるものです。頂いたご意見も踏まえ、今後もプロ、アマを問わず音楽を通じた交流や音楽環境の活性化を図ってまいります。 また、音楽のあるまちづくりと連携した地区計画の策定につきましては、今後の事務の参考にいたします。

所沢市子ども計画(素案)に対するご意見と市の考え方

No	頁	項目	意見	回答
14	P51	(3) SNS等を活用したオンラインアンケート調査の概要 4. 結果概要 「子ども福祉の未来館のような場所をもっと欲しい。(20代)」	p51「子ども福祉の未来館のような場所をもっと欲しい。(20代)」とありますが、どのようなニーズなのか細かなところは分かりませんが、戸田市の「戸田市立児童センター子どもの国」のようなハコモノはあっても良いと思います。少なくとも戸田公園駅から「戸田市立児童センター子どもの国」までの道は幅員5.5m程度の「フラット」形式ですが非常に歩きやすいと感じています。6.7万人程度の乗降者数の駅前にも関わらず、自動車も全体的に少なく、走行スピードも遅いです。こうした道路の作り方なども参考に、子どもが来ることを想定しているエリアはその周辺の道路をもう少し考えた方が良いと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 子育て家庭が遊びに行ける場として、「子ども福祉の未来館」(2F子ども支援センター)を含め、市内には計27か所の地域子育て支援拠点(地域子育て支援センター)があります。地域子育て支援拠点では、自由に遊べるひろばの利用や子育て相談、子育て情報の提供及び様々な行事等も行っていきますので、今後、より一層の周知に努めてまいります。また、中高生世代を含めた子どもの居場所としては、おおむね各行政区に1つずつ、合計11か所の児童館が設置されていますので、引き続き児童館事業の充実と併せてより一層の周知に努めてまいります。 また、まちづくりには、拠点となる施設だけでなく、その周辺の道路や自然環境も含めたエリア全体での視点が必要だと考えております。頂いたご意見は今後の事務の参考にいたします。
15	P53	(3) SNS等を活用したオンラインアンケート調査の概要 4. 結果概要 「もっと自然の豊かさを大事にしてほしい」「人がよく通る所でも道が狭いところが多々あります」	p51に「人がよく通る所でも道が狭いところが多々あります」とありますが危険な通学路がどの程度未だにあるのかわかりたいです。危険でなくても、教育施設の近辺に大きな幹線道路があったりすると子どもからすると少し安心感が薄れる気がします。「もっと自然の豊かさを大事にしてほしい」という声もありましたが、所沢市にはたくさん歩道橋があったりして、ひとまず自動車道を作った感じが強い道が多いです。子供だけでなく歩行者がもう少し安心して歩ける街になった方が良いと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 通学路は、危険であることがないように、毎年、地域の方々と学校が協力し、改善箇所を調査しております。その結果を市や県の関係機関や警察署に依頼し、改善に努めております。
16	P32～P53	3 子ども計画策定に向けた保護者アンケート調査結果 4. 子ども計画策定に向けた子ども・若者への調査結果	アンケートや対面ヒアリングのサンプル数が少ないのではないかと。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご指摘いただきましたアンケートやヒアリング調査につきましては、今回の計画を策定するにあたり、子育て家庭や子ども・若者自身の実態・意識の傾向を把握することを目的に実施したものであり、傾向を把握するには十分なサンプル数であったと考えております。しかしながら、より効果的な施策運営には、多くの子育て家庭や子ども・若者の声を聴いていくことが必要であると認識しておりますので、今後も機会を捉えて当事者への意見聴取に努めてまいります。
17	P32～P53	3 子ども計画策定に向けた保護者アンケート調査結果 4. 子ども計画策定に向けた子ども・若者への調査結果	保育園・中学校の公共サービス提供側のアンケートも見てみたいです。また、統計情報として、相談件数や苦情件数や対応件数も知りたいです。どのような公共サービスでも一部の苦情が全体のリソース配分を歪めることがあるかと思いますが、子供やその保護者向け公共サービスの実態をもう少し細かく知りたいです。また、上場企業の非財務情報などを参考に小中学校の教職員の職場環境についてももう少し知りたいです。個人的には、有給休暇取得率とかよりも、タバコを吸う教師が何人居るか、一日平均何本吸うか、喫煙室に満足しているかなどを知りたいです。教職員の業務は「感情」が非常に重要だと思うので、そうした「感情」への制度的な配慮を知りたいです。	貴重なご意見ありがとうございます。 保育施設の職員に対し、定期的を実施するアンケート等はございません。また、所管課において、毎日のように問合せの対応を行っておりますが、保育施設の利用に関する相談だけでなく、申請手続きに関する質問や、そうしたことに伴う苦情をいただくこともございます。しかしながら、それらを集計したり、統計資料とはしていません。 教職員の職場環境につきましては、「働き方改革」の視点から「所沢市業務負担軽減検討委員会」を年3回実施し、市内の教職員が働きやすい環境となるよう協議を進めております。市内小中学校で実践している取組をまとめアイデア集としてまとめたものを全小中学校に周知しております。実際に、他校で取り組んでいる事例を取り入れたことで環境が改善された事例もございます。 教職員の業務が「感情」ということにつきましては、不適切な指導にならないよう、アンガーマネジメント研修等、各学校で工夫した取組をしているところでございます。なお、喫煙状況につきましては、把握しておりません。感情を抑えるために喫煙につながっているかということにつきましては回答は難しいところでございます。
18	P60	(1) 所沢市の事業の実施状況 キ) 児童家庭相談の新規受付件数	多くの方が、ネグレクトはご存じないと思いますのでネグレクトの説明を追加した方が良いと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 頂いたご意見を踏まえ、ネグレクトの説明を掲載いたします。
19	P86	基本目標1-施策の方向1-ウ) 食育の推進	給食の献立はpdfで見れますが、実際の給食を画像で見たいです。他の自治体の給食の画像を見たときに、正直なぜこういうものを食べさせるのか疑問に感じたことがあります。給食の献立pdfを見ると牛乳がほぼ毎回ありますが、社会人になってランチを食べながら牛乳を飲む人を見かけたことはないです。せめてR-1やヤクルトなり、カルシウムを含有するビスケットではダメなのでしょうか。 給食センターPFIの詳細を見ていないですが、災害時には給食センターが一般向けにも食事を提供すると思うので、もう少し情報公開をお願いします。給食は外国人との共生で度々話題になりますが、そこまで日本人として誇るべき何かなのか疑問があります。	貴重なご意見ありがとうございます。 給食献立につきましては、市ホームページコンテンツ「学校給食の「おすすめレシピ」」にて、画像付きで紹介しています。 牛乳は、成長期に必要な栄養素をバランスよく確保する観点から、優れた食品であり、ご意見頂いた飲料に関しては、糖分も多く含まれることから、毎日の給食としては、好ましくないと考えております。 頂いたご意見は今後の参考にいたします。

所沢市こども計画(素案)に対するご意見と市の考え方

No	頁	項目	意見	回答
20	P96	基本目標1-施策の方向4-ア)学ぶ力の向上、人的配置の充実	<p>社会人になり中学校の理科や社会の教科書を読むと意外に発見が多いです。ただ、初めてそれらの教科書を見ると「知識を押し付け」られる印象になる気もします。ところで、59や62などを見ると教育カリキュラムの内容の暗記率を高める事業に見えます。それはそれで合理的だと思いますが、日本の文部科学省の方針に左右されるのではなく、子どもたちがある程度独学出来る体制、興味を持つことを深掘り出来るような体制も構築された方が良いと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 「確かな学力定着事業」や「トコロんびのび塾」は、児童生徒一人ひとりに確かな学力を身につけるための事業となります。教育委員会といたしましては、これからの生き抜く子どもたちが自己実現を果たし、社会の創り手となるために、「未来を切り拓く力」を今後も育成してまいります。</p>
21	P98	基本目標1-施策の方向4-ウ)いじめ・不登校などへの取組の充実	<p>「いじめ・不登校などへの取組」に関してですが、30-40人の集団だと必ずなにか問題が発生することは明らかなので寧ろ問題が発生することを前提に苦情件数や対応件数などを公表していく体制を構築した方が良いと思います。74の未然防止も重要ですが、件数を0にすることは出来ないという前提で制度を運用したほうが良いと思います。そもそも「不登校」の定義が不明ですが、サラリーマンでさえ週x日出社のような働き方が一定数あり、フリーランスや自営業や起業家などだとさらに自由に働けるときに、週5日学校に行く必要性がどこまであるのか、少し疑問です。週x日登校のようなハイブリッド型の学生が一定数良いと思います。長期間学校に登校しない方も一定数居るのでしようが、登校=週5日の前提ではなく、週x日ぐらゐの登校も可能なような制度の運用になっていると、長期間の学校教育からの離脱後に再び学校教育に参加する負担が少なくなると思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 子どもたちは、成長する過程において、日々様々な課題に直面し、乗り越えるために模索し、時には困難を抱える等の様々なケースがございます。児童生徒の発達段階に応じて個々が課題と感じることが違うことから、件数の多い少ないで課題の傾向を図ることは難しく、引き続き学校において児童生徒に寄り添いながら対応を進めてまいります。 いじめの未然防止に関しては、子どもたちが、いじめ問題を含むトラブルを自分たちで解決する力を身に付け、いじめを許さない学校風土を醸成し、いじめの未然防止に取り組んでおります。 不登校は「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義されています(令和4年12月改訂 生徒指導提要より)。不登校の児童生徒は、多様な要因・背景により結果として不登校になっており、その行為を「問題行動」と判断しないこととなっております。不登校の対応は、「不登校はどの子にも起こりうる」という視点と、「やみくもに登校刺激を与えるのではなく、待つことが大切」という視点のもとで、不登校児童生徒に寄り添い、共感的理解と受容の姿勢を持つことと、様々な取り組みを行う中で、子どもたちの自己肯定感を高め、社会的自立につながるよう進めております。</p>
22	P98, P111, P120	<p>基本目標1-施策の方向4-ア)学ぶ力の向上、人的配置の充実 番号66日本語サポーター事業(P120に再掲)</p> <p>基本目標2-施策の方向2-ア)子育て支援体制の充実 番号134コミュニティスクール事業</p>	<p>【66・175 日本語サポーター事業 134 コミュニティスクール事業】 この事業は、学校生活に慣れるまでのサポートです。現在、日本語指導が必要な児童生徒数が所沢市でも急増しているため、提案とその提案理由(課題)を下記に示します。 派遣回数制限をなくしてください。 現在、通算25回までの支援です。これは学校生活に慣れるまでをこの制度の目標としているためです。しかし、学校は学習の場です。生活言語と学習言語の獲得年数にはギャップが大きく、同年代の児童生徒と同等の学習言語を習得するまでには、母語が漢字圏でない場合、5、6年かかると言われています。また、個人差が大きいため、回数制限をつけずに、日本語での学習理解度によって、サポートを続けることを提案します。 制度間の支援者の情報交換の場の設定 所沢市では、県費で別途、日本語講師を再任用管理職として拠点校を設定して、要請のある学校に派遣しています。また、私が代表をしています青少年多文化学びサポートでは、放課後や長期休暇期間中に日本語教室を市内の公民館等で開催したり、学校での支援を行っています。各支援機関間での情報交換によって、日本語支援が効果的になります。 日本語学習のためのプレ教室の設置 該当する児童生徒数が増えているため、私たちの団体でも十分な支援が行えなくなっています。また、どの学校に編入するかで、日本語支援の差が大きく出てしまいます。今回、2025年度には、全校で設置されるというコミュニティスクール(施策番号134)、あるいは、近隣地区の複数の小中学校に1校、プレ教室を設置し、本来の在籍校に通学する前に日本語を集中的に学習する期間を設定することを提案します。 保護者への日本語学習の勧め 大人の日本語教室は所沢市内各所で6団体が開いています。しかし、保護者の中には、日本語は難しい、下の子が小さいなどで、学習をしないままの方がいます。その結果、子どもが通訳など、ヤングケアラーとして、親の通院や役所での手続きのために学校を休むことがあります。学校で日本語学習のための市内教室の案内を配布するなど、日本語学習を勧めたいだけだとありがたいです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見のとおり、日本語サポーター派遣事業は、外国籍や帰国児童生徒が日本での学校生活に適応し、よりよい学校生活のスタートができることを目的とした事業です。より多くの児童生徒に対応することができるよう、回数の制限を設けております。言語の習得を目的とした学習を必要とする児童生徒については、専門の日本語指導教員が指導計画を立てて指導を行っています。 制度間の支援者と日本語指導教員の情報交換の場については、サポーターの方の時間の拘束等、難しい状況がございますが、指導法の向上など大変有効であると考えています。 就学前のプレ教室については、同世代の子供の中でコミュニケーションを取ることが重要であり、日本語が耳から入り、日本語を話す必要感があることが効果的と考えております。併せて、プレ教室の開設においては、必要となる人材や場所等を踏まえる必要性があるものと考えます。 編入・転入手続きで来庁いただいた際に、日本語支援の話をしております。日本語教室のリリースも社会教育課に配架してあり、保護者の日本語支援の情報提供を行っているところで</p>
23	P100	基本目標1-施策の方向4-エ)子どもたちの安全で安心な居場所づくり 番号81 中学生の居場所支援	<p>具体的な居場所は示されていませんが、単独の館を作ることは考えていませんか？使用されていない公共施設の利用も考えているのでしょうか。もう少し具体的な記述が望まれます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 中学生世代を含めた子どもの居場所につきましては、児童館など既存の施設を活用したいと考えております。現在、児童館での夕方の時間を利用して中学生タイムや生涯学習推進センターでの自習室開放等を行っており、今後は更に中学生が気軽に参加できる事業を計画してまいります。また、周知方法についてもSNSを活用するなど工夫します。</p>

所沢市こども計画(素案)に対するご意見と市の考え方

No	頁	項目	意見	回答
24	P103	基本目標2 子育て当事者への支援について全般	0歳から全ての保育園無償化をすべき。市長の公約にもあり、東京都に大きく劣っているため。今すでに子が大きい人には全く関係ないが、これから出産を考えている人には経済的な負担が大きくなり、それだけで、所沢に全く魅力的に感じない。これから所沢への引越を検討する人も西東京や東村山や清瀬など、できれば東京で検討しようと感じてしまう。	貴重なご意見ありがとうございます。 多子世帯への支援(第二子は半額、第三子以降は無料)や、低所得世帯等への軽減策を講じておりますが、ご提案の世帯の所得状況及び年齢を制限しない第一子の保育料軽減につきましては、財政的に大きな負担が生じることから現時点で実施の予定はございません。現在、子ども医療費の対象年齢の拡大や小中学校の学校給食費無償化など、子育て世帯への経済的負担の軽減に向けた施策を実施しているところですが、その他の子育て支援施策につきましても、限られた財源の中で最善を尽くして進めてまいります。
25	P103	基本目標2 子育て当事者への支援について全般	所沢駅東口の再開発にあたり新設保育園の計画が今のところないため早期に計画をすべき。マンションや戸建などの開発が進んでいるが、所沢駅東口は、駅周辺にしか保育園がなく、今後待機児童が多く見込まれるため。	貴重なご意見ありがとうございます。 土地区画整理事業などに伴う保育施設の需要の高まりへの対応については、施設の新設や既存施設の活用など様々な取組を行いながら、引き続き保育の必要な方にご利用いただけるよう施策を進めてまいります。
26	P103	基本目標2 子育て当事者への支援について全般	保育園、学童、小学校などの定員について、その場しのぎの拡充ではなく、今後子どもが減らないことを前提に必要な施設や広さや設備を確保すべき。	貴重なご意見ありがとうございます。 保育施設をはじめとする子ども・子育て支援に関する施設のあり方に関しましては、貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
27	P106	基本目標2-施策の方向1-工)経済的支援の充実 番号110 子育てのための施設等利用給付事業	【課題】 市民税課税世帯における0～2歳児クラスの保育料は、世帯所得に応じて月額数千円から数万円に上り、2年間の負担額が100万円を超える場合もあります。この金銭的負担の重さは、特に多子世帯にとって深刻であり、第二子以降の出産を断念する原因の一つとなっているとの声を、子育て世代から頻繁に聞いております。保育園の先生方のきめ細やかな対応を考慮すれば保育料が割高とは感じないものの、基本目標2の施策「就労と子育ての両立支援」の実現には、速やかな改善が不可欠であると考えます。 【課題を解決すべき背景】 貴市は、過去の育休退園問題や学校へのエアコン設置中止などにより、子育て支援が不十分であるというイメージが強い自治体です。育休退園の撤廃などにより一定の改善が見られることは理解しておりますが、いまだに「この自治体で育児を続けたい」「他地域から転居しても子育てしたい」と思える状況には達していません。その結果は、合計特殊出生率にも表れています。貴市の出生率は、過去6年間で5回も国及び埼玉県平均を下回っており、子育て世帯が安心して暮らせる環境の整備は、急務であると言わざるを得ません。 【課題解決のための提案】 子育て世帯への経済的支援の充実とその積極的な周知は、貴市の持続可能な発展のための喫緊の課題です。その一環として、市民税課税世帯における0～2歳児クラスの保育料の無償化を強く提案します。この施策を、基本目標2の主な取組事業110への追記することについて、具体的に検討頂けますようお願い申し上げます。本提案は、子育て世帯の経済的負担を軽減するだけでなく、東京都が発表した同様の施策に追随することで、「都に劣らない子育てしやすい自治体」であることを市内外に力強く発信する機会となります。選ばれる自治体となるためにも、貴市が一步踏み出すことを強く期待しております。	貴重なご意見ありがとうございます。 多子世帯への支援(第二子は半額、第三子以降は無料)や、低所得世帯等への軽減策を講じておりますが、ご提案の世帯の所得状況及び年齢を制限しない第一子の保育料軽減につきましては、財政的に大きな負担が生じることから現時点で実施の予定はございません。現在、子ども医療費の対象年齢の拡大や小中学校の学校給食費無償化など、子育て世帯への経済的負担の軽減に向けた施策を実施しているところですが、その他の子育て支援施策につきましても、限られた財源の中で最善を尽くして進めてまいります。
28	P110	基本目標2-施策の方向3-ア)地域の体制づくり 番号130 パパ・ママ応援ショップ事業	「パパ・ママ応援ショップ事業」を記載するのであれば、「赤ちゃんの駅」も追記した方がよいと思います。埼玉県との共同事業には「パパ・ママ応援ショップ事業」だけでなく「赤ちゃんの駅」もあったはずですが。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえまして、本計画に「赤ちゃんの駅事業」を記載します。
29	P117	基本目標3-施策の方向4 ヤングケアラーへの支援	「ヤングケアラー」がどの程度いるのかわかりません。国勢調査の「その他の親族世帯」は令和2年で4.2%と平成以降やや減少傾向のようですが、ざっくりとした統計だと本当に必要な支援が何なのかふわふわしたままだと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 ヤングケアラーと思われる子どもの実態を把握する調査は現段階では実施しておりませんが、本市における実態調査の実施については検討中です。ヤングケアラーの実態把握は、本人が自覚していないことも多く、正確な数の把握は難しい状況がありますが、引き続き、学校、福祉、医療等の関係機関と連携し、実態の把握、支援に努めていきます。
30	P119	基本目標3-施策の方向5 障害などのある子どもへの支援	令和6年度障害福祉サービス等報酬改定で高次脳機能障害支援体制加算(障害児支援)が新設されたことを受け、高次脳機能障害を有する障害児への相談支援体制を整備していくことを、施策として位置づけてください。	貴重なご意見ありがとうございます。 高次脳機能障害のある子どもたちへの支援に関しましては、貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。

所沢市こども計画(素案)に対するご意見と市の考え方

No	頁	項目	意見	回答
31	P119	基本目標3-施策の方向5 障害などのある子どもへの支援	「強度行動障害や高次脳機能障害を有する障害児に対する支援体制の充実」という施策を位置付けてください。また、次期の障害児計画においては、国の基本指針に即して「強度行動障害や高次脳機能障害を有する障害児に対する支援体制の充実」といった施策を位置付けて、強度行動障害や高次脳機能障害を有する障害児への支援を計画的に実施していただく。	貴重なご意見ありがとうございます。 強度行動障害や高次脳機能障害のある子どもたちへの支援に関しましては、貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
32	P121	基本目標3-施策の方向5 -イ)障害児通所支援の充実 番号178 かの木学園の運営事業	文言について意見致します。 1行目 (主に身体障害) (主に重症心身障害児) 4行目の最後の文章について 卒園・他園へ移行した児童の保護者交流会ではなく、主に在園児の保護者に対して交流会を実施しています。またその他の自主事業もありますので、下記の内容の記載を検討頂ければ幸いです。 文章の内容変更(提案) 卒園・他園へ移行した児童の保護者交流会などの自主事業も行う。 また在園児の保護者の交流を目的とした保護者交流会やきょうだい児のサポートなどの自主事業も行う。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり修正いたします。
33	第3章	5 目標実現のための施策	広島平和記念式典参加事業を追記した方がよいと思います。 川越市こども計画には、広島平和記念式典 派遣事業が記載されています。 所沢市も同様の事業があるので、記載した方がよいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 本市においては、平和推進事業として、ご指摘の広島平和記念式典派遣や平和教育などを実施しております。このことから平和推進事業を追加いたします。
34	第3章	5 目標実現のための施策	【夜間中学校設置の提案】 所沢市での不登校数はどのくらいになっているのでしょうか。埼玉県では川口市に公立の夜間中学校が設置されました。埼玉県は東西に長いので、川口まで、しかも、夜、通うのは、所沢からだと、なかなか勇気が必要です。 所沢市に夜間中学校ができると、県西部の該当者にとっては、朗報だと思います。設置場所としては、生涯学習推進センターの北側の建物のが今は利用されていないようなので、どうでしょう。中核市になると、夜間中学校の設置もしやすくなりそうですので、その時期を目標に、考えていただきたいと思います。外国人の在籍数が川口での東京都や神奈川県でも多くなっており、学齢期途中で親に呼ばれて来日し、就学機会を逃してしまうような子も、夜間中学校を卒業し、高校進学の手助けとなります。	貴重なご意見ありがとうございます。 夜間中学の設置や運営に係る費用負担、教員の配置、通学の対象者についてなど、多くの課題があると思われるので、他市町村の動向等を勘案して慎重に研究してまいります。
35	P 135	1. ところっこ子育てサポート事業(利用者支援事業)	量の見込み合計で3となっており、下記の説明がされています。 【量の見込みの考え方】 身近な場所に設置することが必要であること、及び、地域子育て支援拠点設置数を考慮して設定しました。 所沢市は11行政区なので、身近な場所に設置するのであれば、11もしくは、その前後の数になるはずですが、「3」が「量の見込みの考え方」のいずれか、もしくは両方が妥当でないと思われる。	貴重なご意見ありがとうございます。 地域子育て支援拠点(地域子育て支援センター)は、自由に遊べるひろばの利用のほか、地域の相談場所として子育て相談や子育て情報の提供なども行っており、市内に27か所設置しています。このため、地域子育て支援拠点の数を考慮し、現状の設置数である計3か所を維持するとして設定したものです。 「ところっこ子育てサポート事業(利用者支援事業)」の「量の見込みの考え方」の趣旨を分かりやすくするため、ご意見を参考に、見込み量の考え方を以下の通り修正します。 「利用者支援事業は基本型・特定制・子ども家庭センター型の3類型であること、また身近な地域において、子育てに関する相談や情報提供を行っている地域子育て支援拠点が多く設置されていることから、現状の設置数を維持するものとして設定しました。」
36	P136	2. 妊婦健康診査事業	<現行> 【量の見込みの考え方】将来推計人口(翌年度0歳児)を考慮して設定しました。 (R5)1,962人(受診率 95.6%)  <ご提案> 【量の見込みの考え方】将来推計人口(翌年度0歳児)を考慮して受診率 100.0%を目標に設定しました。 (補足)R5の人数とかみ合わないので受診率 100.0%を目標にしているのだと推測しました。もし、そうであれば、明記した方がよいと思います。 (R5)1,962人(対象者x,xxx人受診率 95.6%) (補足)対象者数を記載した方がよいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見を参考に、R5年度の実績の記載及び見込み量の考え方を以下の通り修正します。 「量の見込みは、将来推計人口(翌年度0歳児)を考慮して受診率100%を目標に設定しました。」 また、R5年度の実績については、「1,876(妊娠届出数1,962人、受診率 95.6%)」に修正します。
37	P137	3. 乳児家庭全戸訪問事業	量の見込み> 確保の内容となっていますので、供給不足の対応をどのようにするかを説明する必要があると思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 乳児家庭全戸訪問は、4か月児までを対象としており、里帰り出産などで不在の場合を考慮し、確保は目視率95%としています。不在であった家庭については、引き続き市が実施している4か月児健康診査ですべての乳児の養育環境などの把握に努めていますので、記載のとおりとします。

所沢市こども計画(素案)に対するご意見と市の考え方

No	頁	項目	意見	回答
38	P138	4. 養育支援訪問事業その他要保護児童などの支援に資する事業	実績が4に対し、見込みが7となっています。 【量の見込みの考え方】に「訪問実績を考慮して設定しました。」とありますが、約2倍になっていますので、この説明だけでは不十分で追加説明が必要だと思えます。	貴重なご意見ありがとうございます。 令和5年度の実績は4世帯となっていますが、過去5年間の平均実績は6世帯であり、令和6年度の支援状況も考慮して量の見込みを7世帯として設定しました。 ご意見を参考に、量の見込みの考え方を下記の通り修正します。 「量の見込みは、過去5年間の平均実績及び令和6年度の支援状況を考慮して設定しました。」
39	P139	5. 地域子育て支援拠点事業	量の見込み 188,288 確保の内容 321,800 「確保の内容」が「量の見込」を大幅に上回っています。市の財政には限りがありますので、見直して「確保の内容」を削減した方がよいと思えます。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見のとおり、市の財政を考慮事業の確保についての見直しも必要と考えます。一方、地域の子育て家庭の親子にとって、身近な親子の交流や相談しやすい場の確保も必要と考えるため、現時点での「確保の内容」は案のままとします。双方の両立が保てるよう、事業の見直しやより良い運営に努めてまいります。
40	P144	10.放課後児童健全育成事業 放課後児童クラブの確保の内容	確保の内容が毎年120人ずつ増えているので、毎年、新設等の対策をしていただけることは大変ありがたく思っています。 しかしながら、5か年計画の最終年においても確保の内容が量の見込みより下回っていて、5年後でも待機児が394名いるという計画です。「量の見込み」と「確保の内容」が同数になる計画にしてください。	貴重なご意見ありがとうございます。 確保の内容は、児童クラブの施設整備のみの数値となっております。放課後児童対策につきましては、施設整備だけでなく、既存児童クラブでの弾力的な児童の受入れや、夏休みの一時預かり事業など、様々な方策を講じることで、待機児童の解消に努めてまいります。
41	P144	10.放課後児童健全育成事業 確保の内容の考え方 今後の方向性	長期休みの一時預かり事業で助かる世帯もあるとは思いますが、大半の子どもたちは年間を通して学童が必要です。一時預かり事業はあくまで緊急措置的対応であり、根本的には、学童保育施設を新設していくことが必要と感じています。	貴重なご意見ありがとうございます。 待機児童の根本的な解消には児童クラブの新設が必要というご指摘は、そのとおりだと思います。しかし、待機児童の中には長期休業期間のみの利用希望も少なからずあることから、夏休みの一時預かり事業なども含め、様々な方策を講じることで対応してまいります。
42	全般	予算規模	この計画をもとに様々な所沢市の政策や事業が展開されるのだと思えますが、それぞれの政策や事業の予算規模をざっくり記載しておいて頂けるとありがたいです。 「〇〇無償化」の政策に関しては記載がなかったですが、子育て世代向けの公共サービスの提供と「〇〇無償化」はかなり違うと思えます。「〇〇無償化」で無理に新規住民を獲得するのではなく、子育て世代向けの公共サービスの質的向上を通じて地域全体の価値向上につながればと思っています。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、予算規模など財政状況に関する情報につきまして、市民の皆さまにお伝えすることは大切なことだと認識しております。しかしながら、計画冊子上で記載できる情報には限りがございますので、原案のとおりとさせていただきます。
43	全般	教育	教育について――日本の神話、道徳、国、地域の歴史を特に年齢にこだわることなく、常日頃から教育する。	貴重なご意見ありがとうございます。 各学年で取り扱う内容につきましては、学習指導要領に定められております。今後も学習指導要領に則った教育課程が学校で実施されるよう、教育委員会として各学校を指導してまいります。
44	全般	施設名称	資料を拝見すると、センターみたいな外郭組織がやたらに多い。天下り先かと勘繰ってしまう。	貴重なご意見ありがとうございます。
45	全般	全般	魅力を感じるものがありませんでした。155ページもあって何が言いたいのかさっぱりわかりません。子育て忙しく、読む時間がありません。的を得ていません。そのため、子育て世帯を100%減税して役所の仕事を減らして、住民が積極的に選んでサービスを受ける形式にして頂きたいです。一方で、教育機関の予算が減るのはダメです。一度、本計画を白紙にして100%減税してテストして頂きたいです。	貴重なご意見ありがとうございます。 計画については、基本目標に紐づく施策を網羅的に掲載しているため、分量を減らすことは難しいものと考えますが、よりコンパクトで市の魅力が伝わるような概要版を作成してまいります。 住民税や所得税の100%減税については、税の公平性の観点からも難しいものと考えますが、子育て世帯に対する経済的支援の充実の声が多いことは認識しており、市では、子ども医療費の対象年齢の拡大や小中学校の学校給食費無償化など、子育て世帯への経済的負担の軽減に向けた施策を実施しているところです。今後につきましても、経済的負担を含めた子育て世帯の負担軽減に向けた施策を進めてまいります。



所沢市こども計画(素案)に対するご意見と市の考え方

No	頁	項目	意見	回答
46	全般	全般	<p>ボリュームが多すぎて、状況把握が困難です。これだと、行政サービスのありかたを鳥瞰的にレビューすることが難しいと思います。保護者や子ども目線で言えば、どのような行政サービスがあるかを把握することが難しいのでせっかく行政サービスとして用意されているものがあっても、そのことを知らず、活用することもできない状況になってしまうように感じます。</p> <p>現在、川越市でも同様のパブリックコメント手続きを行っていますので、川越市のもものと見比べてみました。川越市こども計画(原案)だと、ライフステージに応じた切れ目ない事業一覧 P49～P52 というものがあり、全体像が把握しやすくなっています。これを参照すると、保護者や子ども目線で、どのような行政サービスがあるかを、直感的に把握することができます。これを元に、具体的な内容を把握しやすくなっています。</p> <p>所沢市こども計画(原案)にも、これを取り入れてみてはいかがでしょうか？</p> <p>なお、川越市が141ページ、所沢市が155ページとなっています。川越市には、上記で紹介したライフステージに応じた切れ目ない事業一覧というものがあるにもかかわらず、所沢市よりもページ数が少なくなっています。</p> <p>もう少しコンパクトにまとめることはできませんか？</p> <p>学生の頃に、薄い参照書を作成するのは、分厚い参考書を作成するよりも、はるかに難しい。本当に必要で大切なことを整理できなければ、薄い参照書を作成することはできないからだと先生に教えていただいたことがあります。</p> <p>現在、所沢市は中核市を目指しています。中核市の先輩である川越市に負けないように、可能な範囲で、もう少しコンパクトで分かり易い、こども計画(案)にしていただけならと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、ライフステージ別の事業一覧を掲載することは、こども施策を俯瞰的に把握できるものと考えます。ご意見を踏まえ、一覧表を追記します。</p> <p>計画については、基本目標に紐づく施策を網羅的に掲載しているため、分量を減らすことは難しいものと考えますが、市民の皆さまのお手に取ってもらえるよう、よりコンパクトでわかりやすい概要版を作成してまいります。また、子育て世帯が子育て支援に関する制度やサービス、相談機関、関連施設などを容易に把握できるよう、これらの情報をまとめた「ところっこ子育てガイドブック」を作成しておりますので、その周知に努めてまいります。</p>
47	全般	全般	<p>パブコメについて――単に、市民からの意見を聞きましただけという、アリバイ作りとならぬよう、どういう意見があっただけかを分析・公表していただきたい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>パブリックコメントで頂いたご意見は、市民の皆さまの貴重なお声として、可能な限り、これを踏まえながら、計画策定を進めてまいります。</p>
48	全般	全般	<p>「パブリックコメント実施の手引」によれば、意見募集期間の初日に所沢市ホームページの新着情報に掲載すること、ところざわほっとメールを発信することが必須事項として定められています。これは、パブリックコメントを行うことを周知するために、これらが必須とされているものだと思いますが、所沢市ホームページの新着情報への掲載が行われていません。所沢市ホームページの新着情報への掲載を行っていただくこと新着情報の掲載日を考慮して、このパブリックコメントの意見募集期間の終了日をご変更下さいませお願い申し上げます。パブリックコメント手続は平成27年4月1日施行の「所沢市市民参加を進めるための条例」に明記されています。「所沢市市民参加を進めるための条例」の第17条に「この条例の施行に関し必要な事項は、別に定めます。」という委任条項があり、「所沢市パブリックコメント手続実施要綱」や「パブリックコメント手続実施の手引」が定められています。必須とされている手続を行わずに、パブリックコメントの意見募集期間を終了されることが無いようお願いいたします。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、市ホームページの新着情報への掲載がなされておらず、申し訳ございませんでした。</p> <p>本パブリックコメント手続につきましては、市ホームページへの掲載、ほっとメールでの発信に加え、こども・若者情報チャンネル(LINE)でも発信を行っておりますことから、手引どおりの手続きではございませんでしたが、周知はできているものとして、意見の募集期間を変更するまでには至らないものと考えております。</p>
49	全般	全般	<p>中長期での目標設定は大事だが、埼玉県内で比較するのではなく東京都の施策と比較して、臨機応変に計画を見直し・追加・前倒ししてスピード感を持って子育て支援をすべき。 (埼玉の他の都市ではなく、東京と比べて 居住すべきか検討する人が多いため)</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>計画を進捗管理する指標につきましては、5年後に進捗状況を確認する中長期的な指標と併せて、毎年度進捗状況を確認する指標を設定しております。毎年度進捗状況を確認、点検・評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行ってまいります。</p>
50	全般	全般	<p>所沢市内で新築マンションを供給している事業者や、その他の不動産会社に対し、所沢に新居を構えようと検討したがやめた人は、何を懸念してやめたのか、聴取しにいて、子育て支援の計画に反映させるべきではないでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>大規模マンション等の建設など、多くの子育て世帯の流入が想定される場合には、必要に応じて開発事業者との意見交換を実施しております。頂いたご意見は今後の事務の参考といたします。</p>